

---

# 雪景色

吟遊游猫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雪景色

### 【Zコード】

N8474Z

### 【作者名】

吟遊游猫

### 【あらすじ】

本日、雪が降りました。

(前書き)

『語り得ぬものについては沈黙しなくてはならない』。 ルード  
ヴィヒ・ウィトゲンシュタイン。  
まさに、そのとおりだと思つね。  
……自分の文才のなさをどう翻訳するか考えた結果の台詞で  
した。笑

あの口少年は空を見上げて「いつ間にました。

「この広い空を見ていると僕の悩みなんて、  
なんてい、ちっぽけな事なんだろ?って、思ってるんだ。」

だけじゃねっこました。

「君は確かに小さこけど、悩みを隠す必要は無いんだよ。」

今宵は雪が降りました。

真白色をしている小さな粒です。

触つたら、溶けてなくなつてしまします。

その口少年は雪空を見上げながら「いつ間にました。

「この雪のように僕なんて簡単に消えてしまつのだろ?。  
このまま、いくら生きていたって死んで消えしまつのは同じなら、  
これから強く生きてこく意味つて何だろ?って、思つんだ。」

そしたらゆきだらまこしました。

「こつ死んでも同じ。それはそつかも知れない。」

と言つて、雪空は次の言葉を言い始めます。

「でもね、—————」

と、言つて言葉は途切れました。

いつの間にか雪は降つません。

空は雪空ではなく空に戻つました。

少年は次の言葉を待ちました。

街は雪化粧。

少年は椅子に座つて目を閉じて永い眠りにつきました。

(後書き)

《無駄話》

昨日はクリスマスです。

ちなみに、「シャンパン」というのはフランスのシャンパニュ地方の葡萄から作られたものだけを指すのであって、それ以外はスパークリングワイン」だそうです。

という訳で、クリスマスイブはスパークリングワインを飲みました。勿論、アルコール入りのね。

年齢？ 年齢は15歳です。w

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8474z/>

---

雪景色

2011年12月26日21時05分発行